



日本の国土を表している基本的な情報ってなにかな、博士教えて!

地図や空中写真など3種類の情報を合わせて電子国土基本図と呼ばれるものことじゃな。地理院地図など様々な形に姿をかえて提供されているらしいぞ。



【電子国土基本図とは】

電子国土基本図は、国土の状況や地名を正確に把握するために不可欠な地理空間情報として、行政、防災、民間サービスなど様々な分野で利用されている我が国の基本的な情報インフラです。3種類(地図情報、正射画像、地名情報)のデジタルデータで構成され、そのデータ群から生成される各種成果の提供・公開を通して国土の状況を広く一般に発信しています。

<地図情報>

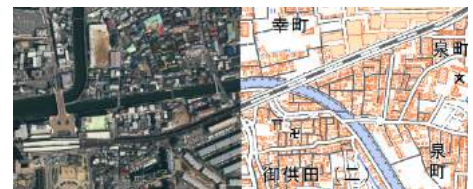
我が国全域を覆う地図情報は、道路、建物など電子地図上の位置の基準と、植生、崖など土地の状況を表す項目を一つにまとめた他の地図の基準となる情報です。



地図情報(基データ)イメージ

<正射画像>

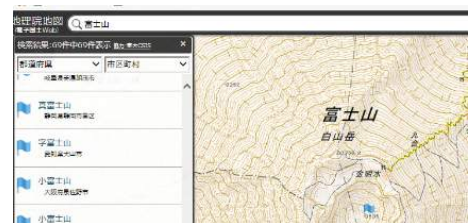
空中写真を加工して位置情報を付与した正射画像(オルソ画像)は、位置情報を持つ各種情報との重ね合わせ等、多様な利用が可能な情報です。



正射画像イメージ(右は接合する地図)

<地名情報>

地域や場所の名称をデータ化した地名情報は、地図や空中写真などを利活用する上で位置を検索する鍵となる情報です。



地名情報を利用した検索イメージ

【豊富な提供ラインナップ】

電子国土基本図から生成される測量成果は、全8種類です。各成果の特徴・仕様に応じて、デジタルデータとして、基盤地図情報、電子地形図、数値地図、電子地形図(タイル)、数値空中写真、正射画像データ、住居表示住所を、紙ベースとして2万5千分1地形図を提供しています。そのうち、「電子地形図25000」は、購入者が欲しい場所・大きさと自由に切り取ったり、地物の表現を選択したりすること(オンデマンド)ができる測量成果です。



オンデマンド方式による提供イメージ

(基本図情報部)